

医療事故情報センター総会記念シンポジウム

# 医療事故調査制度はどうあるべきか

— 制度施行後3年の実情から考える —

2019年5月25日（土）

13:00–16:30（開場 12:45）

ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

10階 1001 会議室（定員 150名）

名古屋市中村区名駅4丁目4-38（名古屋駅桜通口徒歩5分）

事前申込不要・入場無料

主催 医療事故情報センター

連絡先 同事務局（TEL. 052-951-1731 FAX. 052-951-1732）

今回の総会記念シンポジウムでは、運用が開始されて3年を経過した医療事故調査制度を取り上げ、運用状況を振り返ります。

シンポジストには、医療事故調査・支援センター、医療事故調査等支援団体、各医療機関の医療安全管理部門担当者、患者団体でこの制度と実際に関わっている方々をお招きし、それぞれの立場から見てきた運用上の課題や今後の展望についてディスカッションします。

また、シンポジウムの開催に先立ち、各地の医療問題弁護団・研究会の皆様には、医療事故調査制度の実情についてアンケートを行いましたので、その結果も集約して発表いたします（当日のプログラムの詳細については追ってご案内します）。

当日は、シンポジストはもちろん、医療事故調査制度の運用に関わっておられる弁護士、各方面の方々からも会場発言をいただき、よりよい医療事故調査制度のあり方を考えたいと思います。是非、ご参加下さい。